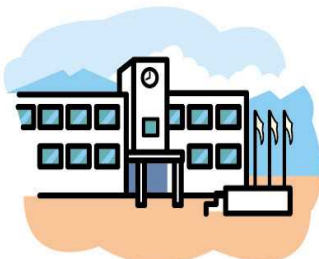


すずかけ

太田市立生品小学校
学校通信〔文責:堀江〕
No. 16
平成30年9月10日

第1回学校評価の結果について



今回は、7月に行った平成30年度の第1回学校評価アンケートの結果について紹介します。児童及び保護者アンケートの結果については、別紙のとおりです。

以下に、保護者アンケート結果の分析について述べます。

保護者アンケート結果の分析について

17項目のうち、14項目は、ア(よくあてはまる)と、イ(ややあてはまる)の合計が80%に達しており概ね良好と判断できましたが、達していない3項目は課題となりました。

<向上はみられないが、特に良好と判断できるもの> (質問1, 2, 3, 8, 15)

残念ながら、昨年の学校評価と比較して3ポイント以上の向上が見られる項目はありませんでしたが、前回同様に特に良好と判断できるものは、質問1「学校の取り組みや、児童の様子がよく分かる」、質問2「授業参観、学校行事等にできるだけ出席している」、質問3「学校は、連絡や相談がしやすい」、質問8「相手を思いやる親切な行動」、質問15「安全な自転車の乗り方」でした。質問1～3、15については、引き続き取組の充実や向上に努めてまいりたいと考えます。評価で質問8「相手を思いやる親切な行動」が良好であることは大変うれしく思います。思いやりのある親切な言動は、人と人を繋ぐ上で大切なことですし、全学級が目指している居心地のよい学級集団づくりの上でも必要不可欠なものです。しかし、このような心を育むためには、学校、家庭、地域の連携が重要です。今後もさらにこのような行動がとれるよう、学校・家庭・地域をあげて努めていきたいと思えます。

<向上がみられるが更に取り組みるとよいもの> (質問6 自主勉強への取組)

質問6の自主勉強への取組の状況については、昨年より2%上昇し72%が「あてはまる」と回答しており、これは過去4年間では最もよい数字です。しかし、72%は依然として課題といえる数値です。学習習慣の確立は大変大切です。特に5, 6年生は中学校に向けて家庭で自ら計画して学習する習慣づくりが重要です。現在の子どもは、家庭に帰ってからも様々な活動に取り組むなど忙しい子どもも増えてきています。また、ゲームやインターネット(YouTube等)など、学習に気持ちが向きづらい環境もあります。しかし、自主的に勉強する力は、将来にわたって大切な力です。

学校では、家庭学習について、全校で次の二つのことに取り組んでいます。

①家庭学習時間の設定(学年×10分+10分、例:6年は、70分 ただし、1年は30分)

②家庭学習時間の記録(家庭学習チェックカードに記入)

全クラスで音読、漢字、計算を基本に毎日宿題をだしています。また、「家庭学習の手引き」に学習の仕方を具体的に示しています。ご家庭においても、お忙しいとは思いますが、応援をよろしくお願いいたします。

<下がっているものや、課題となるもの> (質問7, 9, 10, 14, 17)

昨年と比較し3ポイント以上、下がっているものとして、質問7の「あいさつ」、質問9「子どものトラブル、不登校の解消」、質問14の「安全指導やパトロール」がありました。「あいさつ」については、児童アンケートでは、「進んでしている」という回答が89%で、保護者の評価とのずれがあります。「進んであいさつ」は学校全体としても取り組んでいることで、「オアシスサ運動」といった子ども主体のあいさつ運動にも力を入れているので、低下したことは残念です。しかし、確かに、朝の登校指導で子どもたちの様子を見てみると、あいさつはほとんどの児童ができますが、自分から、目を合わせて、はっきりとした声で、しっかり「おはようございます」と挨拶ができる児童となると数える程度になるかもしれません。学校でも機会あるごとに指導をしていきたいと思えますが、ご家庭においても機会を捉えてあいさつの大切さについて話してあげてください。「子どものトラブル、不登校の解消」については、重要課題ととらえ、スクールカウンセラーさんとも連携し、未然防止に努め、早期発見、早期解決を目

指して組織的に取り組んでおります。今後も、このような取組を継続していくつもりです。「安全指導やパトロール」については、学校の安全指導としては、1学期に1、2年生を対象とした歩行訓練、3、4年生を対象とした自転車教室、5、6年生を対象には、自動車の内輪差、制動距離、衝突実験の見学を実施しました。また、職員は月に2回の登校指導や、下校指導として校外児童会等を行いました。保護者の方にはPTA活動として旗振りの活動を行っていただいておりますし、地域の方々には「生小見守り隊」として黄色いベストを着て児童の登下校の見守りを行っていただいております。児童の登下校の安全、特に不審者等への対策は、学校だけではどうにもならない部分が多いので、今後は一層、地域の方々のご協力をお願いしていきたいと考えています。

課題となるものについては、質問10の「家族の一員としての役割をもたせている」と、質問17の「将来の夢について家族で話す機会」でした。「家族の一員としての役割をもたせている」については、毎回やや低い結果となっておりますが、今回は更に2ポイント低下してしまいました。役割をもたせて、責任をもってやらせることで、子どもの中に、家族の一員としての自覚が芽生えたとともに、自分が役に立っているといった自己有用感、自己肯定感も高まり自信が生まれます。「風呂掃除」などのお手伝いがよくできたときは、「とても助かった」と感謝してあげてください。「将来の夢について家族で話す機会」については、保護者アンケートの結果は高かったのですが、児童アンケートでは72%と極端に低く、課題であると言えます。学校においても、将来の夢をもつことのすばらしさや大切さについて機会あるごとに考えさせたり、伝えたりしていきたいと思っております。ご家庭でも、ぜひ話題にいただき、お子さんと夢を共有してみてください。

保護者アンケート意見より

○「天候もよく、子どもたちも楽しみにしているのに、プールの授業が少ないのでは」といったご意見をいただきました。(複数いただきました)

ご意見ありがとうございます。プールの授業は楽しみにしている子どもたちも多く、できればたくさん実施したいと考えています。しかし、学校には教育課程があり、算数の「かけ算」など、各教科のそれぞれの内容の指導時数もそうですが、各指導内容の指導時数も決まっております。「水泳」の指導時数も10時間と決まっています。これを超えて指導してしまうと、体育の他の領域の学習や他教科の指導時数に影響が出てしまいます(時には多少は超えて指導することもあります)ので、天気が良いから、暑いからを理由に、学年のプールが使える日に、必ず水泳を実施していくことはできません。特に「水泳」は、雨天等で中止になることを見越して計画されていますので、計画上は時間数がオーバーになっています。本校は水泳は2時間続きで行っていますので、5日実施すると指導時数に達してしまうのです。今年は特に6月に晴天で暑い日が多く、順調に水泳の授業を実施していった結果、早く指導時数の上限に達してしまった学年が多かったようです。着替えや移動の時間を考えると、2時間続きの方が指導しやすいといった点もありますが、週に1回は1時間での実施も検討していきたいと思っております。

なお、夏休み中のプールの開催日についても、「少ないのでは」といったご意見もいただきましたが、今年の酷暑も踏まえ、検定日を無くすなど削減の方向も含めて検討したいと考えています。

○「登校班がばらばらで安全に強い不安があります」といったご意見をいただきました。

集団登校の様子は、1学期のはじめはよかったのですが、だんだんと登校班によって、班ごとにしっかり1列になって登校する班と、ばらばらになってしまっている班とに分かれてきてしまっているのは事実です。時には集合時刻に遅れてくる子どもが出るなどして、登校班全員が揃わない日もあるかと思っております。それは仕方ないとして、日常的にばらばらになっている班には、個別に指導をしたいと思っております。学校としては登校班の朝の登校の様子はなかなか把握が難しいのですが、この機会に班ごとの登校の様子について1度しっかりと把握をしたいと考えています。お子さんが班長、副班長のご家庭では、バラバラにならないようご家庭からも声かけをお願いします。

この他にもいくつかご意見やご要望等をいただきましたが、ここでは、学校教育全体に関わるご意見や、特にたくさん寄せられたご意見のみ掲載しました。この他のご意見等も含めて、いただいたご意見等は、今後の教育活動を見直したり、改善したりする際に活用させていただきます。

なお、紙面で掲載しなかったご意見等については、個々に回答をさせていただきますので、該当の保護者の皆様は連絡帳等をご確認ください。

早帰りへの対応のお礼

先週4日(火)の台風21号接近に伴う早帰りにおいては、保護者の皆様にはご心配やご迷惑をおかけしましたが、大きなトラブルもなく全員無事下校できました。

急な対応をしていただき大変ありがとうございました。